

初夏の訪れを告げる^{カワズ}蛙の合唱

桜が散った後も真冬なみの寒い日があり、雪も降りましたが、川辺のネコ柳の若葉がようやく初夏の訪れを告げています。

私の家の近くを流れる道志川は、戦後まもなくNHKで放送されて一世をふうびした「三太物語」の舞台です。毎年暖かくなると、冬の間は寒々としていた川の気配に命の息吹が感じられるようになり、浅瀬や、葦(よし)に囲まれた水たまりをのぞくと、小さな魚の姿が目に見えます。今年もようやく、そんな情景が見られるようになりました。

先日、家から少し離れた、この川の上流に足を運んでみました。目にも鮮やかな新緑あふれる木々と、深い渓谷をさらさらと流れる清流のすがすがしさに、気持ちが洗われる思いがしましたが、瀬音を背景にした^{カワズ}蛙の鳴き声がとても印象的でした。その声に誘われて^{カワズ}蛙たちに近づくと鳴き声はやみ、静かに離れるとまた鳴き始めます。その声の調子が、まるで指揮者がいるかのように、いっせいに変わるのをほほえましく思いました。

道志川は鮎つりの川として知られています。毎年6月1日の解禁日から多くの太公望が訪れ、自慢の腕を競い合います。釣りの好きな方は、冬場に準備していた釣り道具の最後の手入れに余念が無いことでしょう。道志川の岸辺の近くで聞こえはじめた^{カワズ}蛙の鳴き声「コーイ、コーイ」という大合唱は、そんな人たちに「太公望よ、早く来〜い」と歌っていたのかも知れません。

私が住む神奈川県相模原市は4月1日に、全国で19番目の政令指定都市になりました。人口70万人を超える都市であり、また、豊かな自然に恵まれた水源地で、相模湖や津久井湖は大型のヘラ鮎、ブラックバス、鯉など、川・湖・溪流有りの釣り場として名を高めております。また、戦後生まれの市としては初めての政令指定都市です。市内も南区、中央区、緑区に区分けされました。私が住む三太の里、道志川一帯は、豊かな自然がそのまま残る緑区に入りました。これからの季節、道志川では日増しに(カワズ)の鳴き声が大きくなり、川の瀬音が口頃の疲れを癒してくれます。川魚の観察もできますので、時間の有る方は、川辺にそっと近づいてみてはいかがでしょうか。

〒252-0176

神奈川県相模原市緑区寸沢嵐1755

押田 成夫